

佐保の現状と将来像

豊かな自然と歴史に囲まれている佐保地域をより住みよい地域にするため住民参加で町づくりを進めていくのが佐保地域自治協議会設立の目的です。

奈良市のシンボリック河川である佐保川が東西に流れ豊かな自然を形成し、その南北には歴史的遺産の寺社・天皇陵等多数が存在し、また大学・公立高中小学校が整い、まさに文教地区としての教育環境が整備され、それらを取り巻く様に落ち着いた住宅街が存在しています。主要幹線道路としての一条通、やすらぎの道が通り、北部には陸上競技場、中央体育館、武道場、市営球場等の健康増進施設が広がっています。

この一方、地域の住環境に多大な悪影響を与えているものとして、一条通の道路整備の遅れがあり、通行車両の慢性的交通渋滞並びに通行歩行者に対する安全対策が切望されています。北部には広大な旧ドリームランド跡地が事実上放置されており、周辺道路等においては不法投棄物が多発し、治安についても懸念されています。また、近年は少子高齢化による町の老化も進行し、空き家が目立つようになり、町の活性化が課題となっています。

佐保地域自治協議会としては、地域交流を通じた町の活性化、高齢者・子ども対策、自然災害時の適切迅速な対応、防犯対策の強化、健康生活への助言や手助け等を地域の力で進めていきたいと考えています。

分野別の活動方針・計画

(1) 町づくり交流部会

○少子高齢化に対応できる安心・安全で高齢者や子どもにやさしい町づくり。

- ・高齢者・独居高齢者に対する見守り等について、行政・諸団体・自治会の連携強化を図るとともに、プラットフォームとなる機関（例：よろず相談窓口）を構築する。

○地域交流・活性化

- ・佐保まつりを地域交流の中核と位置付け、住民参加の祭典とする。高齢者も楽しめる企画を取り入れる。
- ・若者・子ども・女性の交流の場をつくり、参加しやすい環境を整える。
- ・若手経営者の会を創るなどして青年活動を活発にしていく。
- ・奈良県立大学生との交流を深め、地域交流の輪を広げる。
- ・佐保川の「こいのぼり」を上げるなどシンボリックなイベントを企画する。

○町づくり

- ・空き家を有効活用し、歴史ある街並みを伝承する。
- ・空き地を子どもの遊び場に活用する。
- ・自治活動の拠点（会館）また防災用品備蓄倉庫としての空き家の活用
- ・自治会活動の低下した単位自治会を改編する
- ・現行自治会区域割りの見直しを図り活性化を進める。
- ・自治会運営と活動について充実した研修会を実施し、課題と問題点の情報の共有化を図る。

(2) 安心・安全部会

○防災・防犯

- ・防災・防犯活動のレベルアップに取り組む
- ・佐保地区の災害時避難マニュアル、マップを作製する。
- ・自治会ごとの一時避難者の確保を急ぐ。
- ・豪雨発生時の道路冠水と家屋浸水、土砂災害の予測情報を行政と共有し、地域防災活動の具現化を図る。
- ・災害有事の防災用具保管場所を整備する。
- ・活発な防犯巡視活動をさらに継続的に展開するとともに、防犯研修会を通じ各自治会との連携強化を確保する。
- ・防犯活動に民生委員との連携を図っていく。
- ・防犯活動参加者の高齢化が進み、要員確保を検討する。

○交通安全

- ・一条道の慢性的な通行車両の停滞を解消し、住環境の改善を図る
- ・特に子どもに対する安全通行に配慮した歩道整備並びに車イス通行が可能とした歩道整備に取り組む。
- ・狭い道路にはコミュニティ・バスの活用考えていきたい。

(3) 福祉・健康部会

○福祉

- ・若草包括支援センター、沢井病院等と協働し、特に高齢者の健康・福祉の支援を行う。
- ・見守りの中で、独居高齢者の安否確認が重要な位置づけであり、端末機器を利用したサービスを地域自治会で構築する。
- ・自治会で活用しやすい身近な老人の交流の場を設けたい。

○健康

- ・住民の健康増進のため、8月にラジオ体操ウイークを開催。
- ・随時、健康講習会を開き、意識を高める

(4) 生活環境部会

○環境整備

- ・旧ドリームランド跡地の放置による周辺環境の悪化対策
- ・現在の法規制（都市計画法・風致保全法等）下で、開発可能な施設・事業について情報共有する。
- ・周辺環境の悪化要因として、不法投棄物による治安の低下があり、行政・地域諸団体と協働巡視活動に取り組む。

○観光資源発掘と広報

- ・佐保川の桜を観光資源として活用
- ・現行周辺遊歩道と桜並木の再整備
- ・全国レベルの広報活動を展開し、集客による地域活性化を図る。

(5) 文化教育部会

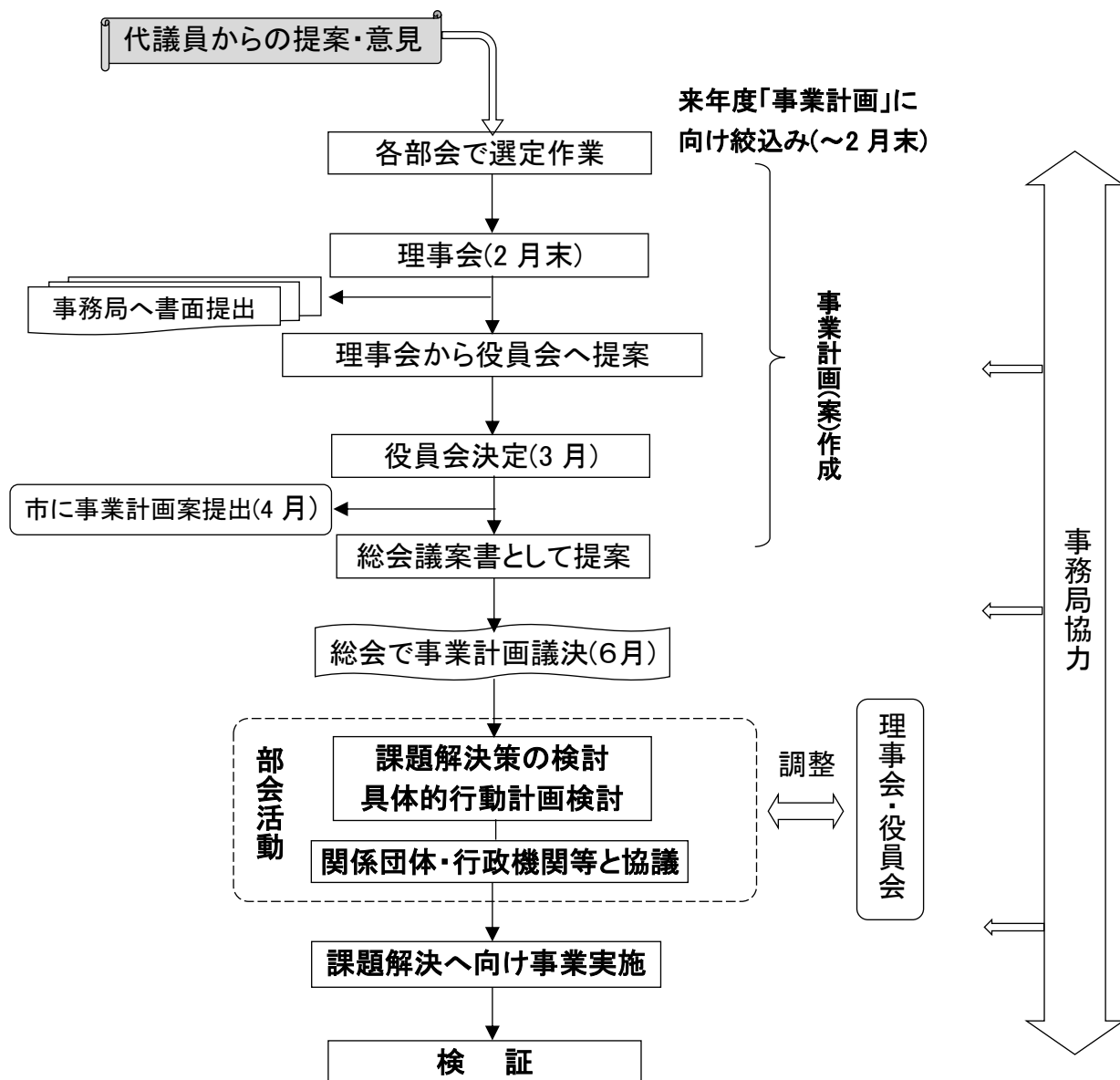
○文教活動の施設の拡充

- ・集会施設としての若草公民館佐保分館の老朽化対策
- ・2020年度には「ふれあい会館」に衣替えし、地域各種団体が効率的に使用できる集会施設として刷新する。

○文化活動の発信拡充

- ・町の歴史、風物詩を発掘し、広報する。
- ・町の美化、活性化に小学生作製のポスター等を活用する。（小学生教育参加）
- ・地域の学校の空き部屋を活用し、住民セミナーなど開催する。

佐保地域自治協議会 事業計画の策定～実施 フローチャート



代議員による意見・提案を受けて事業計画策定、事業実施へ至るイメージ